

# 高島高等学校 令和5年度 公民 政治経済 年間授業計画

教科：公民 科目：政治経済 単位数：4単位

対象学年組：第3学年4組～8組

教科担当者：（4組6組：横井大和）（5組：横井大和）（7組8組：横井大和）

使用教科書：（高校政治・経済 新訂版 （実教出版））

使用教材：（最新図説 政経 （浜島書店））

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原 理 1 政治と法 2 民主政治と人権保障 の発展 3 国民主権と民主主義 の発展	政治が人間社会を運営していくために必要な意思決 定をおこない、社会秩序を作る活動や仕組みである ことを理解する。 基本的人権は歴史的にどのように発展したのか理解 する。 国民主権と基本的人権の尊重に基づいて行われる民 主政治の意義と課題にはどのようなものがあるのか 理解する。 民主政治を実現するのに、何故法の支配と権力分立 制が必要なのか理解する。	政治の概念や働 き、法との関係性 を理解できている か、定期考査及び 提出物で評価す る。 民主政治が誕生す る中での人権の在 り方、三権分立の 構成を理解できて いるか、定期考査 及び提出物で評価 する。	10

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>5月</p> <p>第1編 現代の政治 第2章 日本国憲法の基本的性格 3 基本的人権の保障 4 人権のひろがり 2 平和主義</p>	<p>日本国憲法の保障する人権には何があり、何が問題となっているのかを理解する。 基本的人権が制限された判例を通して、公共の福祉について理解する。 自衛隊の成立と変容について、国際情勢や憲法論議など複数の視点から理解する。</p>	<p>基本的人権がどのように保障されているか、公共の福祉が人権相互の調整原理として機能するしくみを理解できているか、定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>自衛隊の成立過程と変容について理解できているか、定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>10</p>

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>6月</p> <p>第1編 現代の政治  第4章 現代日本の政治  2 選挙制度と政党  3 政治参加と世論    第3章 日本の政治機構  4 地方自治</p>	<p>日本の選挙制度の概要を理解し、その課題を理解する。  政治参加に関わる意思決定において果たすメディアの役割と問題点を理解する。  地方自治の機能や市民参加に関して、何が問題になっているのかを理解する。</p>	<p>日本の選挙の課題として若者の政治参加の課題があることを理解できているか、定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>地方分権の概念を理解し、住民による意思決定のしくみを理解できているか、定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>14</p>

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7月</p> <p>第1編 現代の政治  第5章 現代の国際政治  3 現代国際政治の動向  4 核兵器と軍縮  5 国際紛争と難民</p>	<p>国際社会の成立および国内法と国際法の違いを理解する。  核兵器に関する問題について、唯一の被爆国である日本が果たすべき役割を理解する。  国際紛争のなかで発生する難民に関する国際的な課題は何か理解する。</p>	<p>冷戦の終結後の世界の変容及び現在の状況を理解しているか、定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>核兵器の現状と、核兵器を含む軍縮、紛争において発生する難民問題について日本が果たすべき役割を、定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>6</p>

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	<p>第2編 現代の経済</p> <p>第1章 経済社会の変容</p> <p>1 経済活動の意義</p> <p>2 経済社会の形成と変容</p> <p>3 グローバル化と現代資本主義経済</p>	<p>資本主義経済の成立と変容を理解する。</p> <p>資本主義経済と、それがかかえる問題点を解消すべく生まれた社会主義経済についてその概要と課題を理解する。</p>	<p>資本主義経済から現代経済に至る過程を理解できたか定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>社会主義経済の特徴とその課題について理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。</p>	10

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>10月</p> <p>第2編 現代の経済  第2章 現代経済のしくみ  4 金融のしくみ  5 財政のしくみ  第3章 現代経済と福祉の向上  1 戦後復興と経済成長</p>	<p>金融機関や金融市場が果たす役割について理解する。  国と地方の財政関係の在り方、日本の財政システムがかかえる課題は何か理解する。  日本経済の民主化と復興がどのように進められたのか理解する。</p>	<p>資金が融通されるしくみを理解できたか、国と地方の財政関係やその課題について理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>戦後の経済復興と高度経済成長について理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>12</p>

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>11月</p> <p>第2編 現代の経済 第3章 現代経済と福祉の 向上 2 経済の停滞と再生 3 日本の中小企業と農 業 4 国民の暮らし</p>	<p>経済の国際化のなかで変化する日本経済にはどのような課題があるのか理解する。 日本経済を支える中小企業や食を支える農業が直面する苦しい経営状況を理解し、その対策として進められてきた取り組みについて理解する。 大量生産・大量消費の経済のなかで安心して生活をおくることのできる社会を考え、日本が取り組んでいる消費者政策について理解する。</p>	<p>バブル経済と、その後の「失われた10年」について理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。</p> <p>中小企業や農業の再生、消費者問題について理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>12</p>



指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>12月</p> <p>第2編 現代の経済  第3章 現代経済と福祉の  向上  5 環境保全と公害防止  第4章 世界経済と日本  3 金融のグローバル化  と世界金融危機</p>	<p>高度経済成長の過程で発生した公害について理解するとともに、地球環境の維持に必要な政策を理解する。  実体経済を上回って拡大する国際的な金融活動が与える影響について理解する。</p>	<p>代表的な公害問題の概要について、地球温暖化対策や「持続可能な発展」について理解できたか、定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>10</p>

指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>1月</p> <p>第2編 現代の経済 第4章 世界経済と日本 4 地域経済統合と新興 国の台頭 5 経済協力と人間開発 の課題</p>	<p>グローバル化の一方で進む地域経済統合について理解し、新興国の経済発展がもたらした競争と対立について理解する。 発展途上国における貧困問題の解決にむけて必要な取り組みについて理解する。</p>	<p>地域経済統合の現状と日本の経済協力や貢献について理解しているか、定期考査及び提出物で評価する。</p>	<p>10</p>

2月	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				